

株式会社 大同工業所

「冷温保存」と「防爆」 2つの技術で 医療界・産業界に貢献

海外 企画力 オンリーメイトン 試作可 量産
発注可 自信有 ワン技術 ジャパン 小ロット 対応



血小板製剤保管を担う『クロマトチャンバー』と、危険な場所での作業環境改善に役立つ『防爆スポットクーラー』

冷蔵技術の新たな活路を 見出した ニッチな分野への挑戦

冷蔵庫、冷凍庫、恒温槽を製造・販売する大同工業所。といっても、家庭や飲食店で使用されるような食品保存用のものではない。「血液用冷蔵庫」や「防爆冷蔵庫」といったニッチな分野で活躍する製品群だ。

同社は、昭和20年創業以来ステンレス製品、厨房機器、業務用冷蔵庫・冷凍庫等を製造してきた。しかし、大手メーカーの参入により競争が激化。新たな道を探るべく、昭和44年に冷蔵・冷凍技術に医療用という付加価値をつけた理化学用・医薬品用保冷庫・フリーザー等の製造に着手した。

このニッチな分野への挑戦により、赤字血液センターへの血液保存器具納品を開始する等、着々と実績を築く。さらに新たな分野を開拓すべく、防爆冷蔵・冷凍庫製造を開始。平成9年に厚生労働省産業安全技術協会の検定合格を受け、本格参入を開始した。



引火性液体の加熱、危険場所での熱源に必要な不可欠な『防爆シーズヒーター』

安全を守る製品づくりで これからは、世界を視野に

「血液用冷蔵庫」には、善意で献血された大切な血液を保存するという役割が、また「防爆冷蔵庫」には引火性液体を安全に保存するという役割があり、どちらも医療界や化学メーカーをはじめとする産業界になくてはならない製品だ。異分野における安全な温度管理に貢献すべく、それぞれの分野に精通した知識や、法律による厳しい規定に基づいた製造が求められる。

輸血用血液を保管するための冷蔵庫等は、医療機器としての「薬事法」の承認・認証が必要だ。また、可燃性ガスに対する安全の証である「防爆」を冠するためには「労働安全衛生法」の検定に合格しなければならぬ。同社は、常に進化する法規制に対応し続け、人々の安全を守る貴重な製品づくりを行っている。

医療機器も防爆機器も、その目的は人々の安全を守ることであるのは世界共通だ。だからこそ、あらゆる国に需要はあると考え、今後は世界にも注目していきたいと考えている同社。

「弊社の製品は大量生産型ではなく、現場ニーズにそって一つひとつ忠実に造り上げていきます。これからの品質向上、技術向上をめざすためには、社員の教育訓練や資格取得の奨励を行い、世界に通用する次代の人材を育成していくことが大切」と語る大桐社長。常に法規制と格闘し、コンプライアンスを厳守してきた同社にとって、「小さなことも守れば、将来的に大きな成果が生み出せる」という精神が、医療機器製品と防爆製品の開発に繋がってきたという自信と確信がある。

これからも、この精神で世界の海へと漕ぎ出すつもりだ。

Company Profile

株式会社大同工業所

ISO 9001

大阪22

住所 〒577-0006
東大阪市楠根1-6-45
TEL 06-6746-7141
FAX 06-6746-7195
設立 昭和56年11月10日
資本金 1,000万円
従業員 25名
代表取締役 大桐 春一

■主な事業内容
血液用冷蔵庫をはじめとする
医療機器製品、防爆冷蔵庫および
恒温槽等の防爆製品の製造販売

■主な取引先
全国血液センター、病院、石油
化学関連企業等

<http://www.daido-ind.co.jp>

他社には
負けない

当社のもづくり
セールスポイント

「念ずれば努力と共に成就する」
この想いを胸に、次代は世界へ!

代表取締役 大桐 春一 さん



「大阪で商売したら次は東京。東京でできたら全国、日本に広まったら世界進出やで。世界をまたにかけてやりや」。これは、私が若いころに受けたアドバイスの言葉です。私は叶いませんでしたが、次代では世界に羽ばたいてほしい。そのための努力を怠らず邁進していきたいと思ひます。